

議会だより



にき



さくらんぼフェス 脱コロナで賑わう ～ 観光客を取り戻す ～

CONTENTS

第2回	さくらんぼフェス 脱コロナで賑わう	2
<small>Town NIKI assembly</small>		
定例会	町政のそこが聞きたい 一般質問 2人の議員が登壇	6
全員協議会	仁木町町政施行60周年 ～仁木町子ども交流事業～	10
総務経済常任委員会	今夏の児童の暑さ対策を提言	12

議会HPは
コチラから
Check!



定例会のあらまし

第2回定例会は、6月19日に開会し、同日閉会しました。

町から、報告、補正予算、条例改正、計画変更、規約変更、契約締結が上程され、全ての議案を可決しました。

また、議会提出議案として、意見書1件を提出し、可決しました。一般質問では、2人の議員が登壇し、町長に考えを問いました。

令和6年

第2回定例会

6月19日



さくらんぼフェス
脱コロナで賑わう
～ 観光客を取り戻す ～

機械設備に老朽化の兆し

補正予算

◇一般会計（第2号）

一般会計補正予算は、物価高騰に対応する低所得者支援及び定額減税補足給付金に係る物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加や、民間財団によるスポーツ器具購入のための支援金の交付決定、役場庁舎のボイラー設備の故障による改修工事、すこやか子育て支援センターで使用するセーフティフェンスの購入費等による追加補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保特別会計（第2号）

全員賛成で可決

◇後期医療特別会計（第2号）

全員賛成で可決

質疑あれこれ



佐藤

ボイラー設備等改修工事で1172万6千円ということだが、ボイラーの耐用年数は、

総務課参事

メーカーに

問合せたところ、15年というところである。2基あるが、両方とも庁舎建設時から設置しており、25年を経過するものである。



佐藤

2基とも改修するの。

総務課参事

業者の年2回の点検により、1基は異常ないが、もう1基が本体の水管部に穴が空いており、水が漏れてボイラーのお湯が行き渡らないとのことで、1基のみ改修する。



佐藤

これまでの修繕等の履歴はどうなっているのか。

令和6年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

- ・一般会計（2回目の補正）
6027万1000円増 51億1379万5000円
- ・国民健康保険事業特別会計（2回目の補正）
増減なし 2億774万3000円
- ・後期高齢者医療特別会計（2回目の補正）
増減なし 8052万6000円

その他の議案

総務課参事 近年、老朽化により複数回行っている。

その他、配管の漏水は職員で消耗品費を充てて修繕したり、ボイラー内に溜まったすすの清掃等を行っている。

▼仁木町国民健康保険条例の一部改正
全員賛成で可決

▼大江辺地に係る総合整備計画の変更について
全員賛成で可決

▼北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について
全員賛成で可決

水道法施行規則の一部が改正

令和6年
第2回定例会
6月19日



条例改正

仁木町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

この度の改正は、生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整理等に関する省令が公布され、水道法施行規則の一部が改正されたことに伴い改正するものです。



質疑あれこれ



佐藤 藤

今回の改正は水道法施行規則の改正によって、その権限を厚生労働省から国土交通省及び環境省に移管されたことによる条例

の改正と理解するが、移管された経緯は。

建設課長 国は今まで水道の整備及び管理行政における課題であった水道事業の経営基盤強化等に対し、国土交通省が施設の整備等に関する能力や知見を持っていることから、水道整備、管理行政を一元的に担当することで、効率化が図られること。

さらに、環境省においては、安全・安心に関する専門的な能力・知見に基づき、水質基準の策定を担う他、水質・衛生に関する一部の業務について国土交通省の協議に応じるなど、国民の水道に対する安全・安心をより高めるということで、移管された。



佐藤町長の行政報告

ベトナム視察について

4月15日から23日にかけてベトナム北部方面へ新おたる農業協同組合の森代表理事組合長と共に継続的な人材確保やベトナムとの相互理解や認識を深めることを目的とした、海外視察を行いました。

現在、道内各地において3万人以上の外国人材が受け入れられており、その内約1万人のベトナム人が各分野で活動しています。仁木町でも毎年ベトナムを中心に様々な国から人材が集まっておりますが、農業や福祉分野に従事されておりありますが、受入数が年々増加傾向にあります。

今後の地方経済の活性化に欠かすことができない外国人の方々の役割として、技術や技能、知識を習得していただき、それらを自国で活かすことができる関係性を構築することの方が、持続性の高いものになると考え、この度の視察ではベトナム政府関係者等と意見交換を通し、相互理解や認識を深めることができました。

いきいき88に係る建造物損壊について

6月11日朝、仁木町交流センター「いきいき88」の管理人から玄関横の複層ガラスが丸い形に傷つけられている旨の報告がありました。

故意に傷つけられていることが明らかであったことから、警察に届出し実況見分を経て、町から建造物損壊の被害届を提出しております。

今後の防犯対応につきましては、警察や指定管理者と連携を図るなど、再発防止に努めてまいります。

スキー場 改修工事始まる

契約締結

令和6・7年度仁木町民スキー場リフト・ナイター照明改修工事請負契約の締結が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

今回の工事の内容は、
①既存索道施設の撤去、
②電気ナイター照明設備を含む索道施設の新設、
③搬器運転室の新設、④既存樹木の伐採及び枝払い等であり、契約額は5億270万円です。

質疑あれこれ

指名競争入札というので、**3者を指名しているが、この3者とした根拠は。**



佐藤

産業課参事 指名業者については、指名願の届出書類の登記簿謄本の全部事項証明書の「目的」欄

に掲載している項目が索道の設計・製造・販売を目的としている業者3者を指名した。



佐藤

膨大な指名願の中から抜粋するのは困難だと考える業者から営業され、それ

を精査し3者を決定したのか。

産業課参事 事前の打合せ等の中で関係している事業者等から伺い、その中で本町に登録している業者があるかを登録者名簿により確認した。



改修後の搬器イメージ

より利用しやすくなります

寺子屋スタディがスタート



岩井教育長の教育行政報告

本年5月1日から、深見俊介氏を地域おこし協力隊として委嘱を行いました。深見氏の活動の一つとして、本町の小学4年生から6年生を対象にした苦手科目の克服や学校授業の復習を目的に、学力向上支援員として活動を行っており、6月から仁木町民センターと銀山小学校を活用し、放課後学習支援として寺子屋スタディをスタートさせました。

今後は、夏休みや冬休み期間中についても開催し、本町児童の学力向上を目指していきたいと考えております。なお、深見氏におきましては、教員免許の他に狩猟免許も取得していますので、本町での活躍の場が広がることを期待しております。

報告

▼令和5年度仁木町繰越明許費繰越計算書の報告
地方自治法施行令第146条第2項に基づく報告

意見書

▼ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出議員 野崎 明廣
賛成議員 前田 春奈
全員賛成で可決

一般質問

第2回定例会の一般質問には、2人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



まえだ はるな
前田 春奈 議員

仁木水泳プールの今後の活用について

7



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

よりよい介護保険制度を

8

町政のそこが聞きたい

ニキポーのなになに？

一般質問とは



一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

一般質問の詳しい
内容はコチラから
Check!
(第2回定例会1日目)



今年の更なる暑さ対策は

教育長 日除けネットを増設する

問 仁木水泳プールの今年の暑さ対策は。

教育長

昨年は日除けネットによる屋根をプールサイド片側に設置し、対策を講じたが、今年は日除けネットを両側に設置することとしている。また、プールサイドの平板ブロックが日照により高温となっていることから、

プールサイドにゴムマットの設置を予定している。なお、日本水泳連盟の水泳指導教本では、屋外プールの場合、水温と気温の合計温度が65度を超えると予想される場合や、暑さ指数が31度を超える場合は開設は適さないとされており、本町においても、水泳プールを休止している。

問

プールは老朽化して修理する箇所も増えてくると考える。安心・安全に使用してもらうために、大規模修繕等は考えているのか。

教育長

プールの大規模修繕というのは、今のところ計画にはない。

問

金額的に一番大きい過機は平成22年に取替えているため、それ以外の部分で修繕を行いながら、1年でも長く活用できるように対応していきたい。

教育長

日除けネットを2か所に増設する根拠は。

昨年の入込状況が、子どもを入れて最大で30人から40人程度ということで、そのうちの半数以上はプールで泳いでいるということを見ると、2か所で対応は可能であると考えている。

問

子どもを対象にした水辺の安全教室等の開催実績は。

教育長

毎年4月上旬に河川での水難事故防止の取組実施の協力依頼が国土交通省より発せられ、小中学校に配布しており、学校では夏休み前などに全校集会や学活等により児童生徒へ話をしていくと伺っている。

なお、川や海での水難



今年から日除けネットが2か所になりました



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

住民負担増が強まる見直しは止めて

町長 町の実態を国に示すことは可能

問 介護保険料について、生活に困窮する高齢者の利用者負担軽減は必要である。非課税の高齢者の利用料を一度支払ってもらい、その後半分でも助成することは町の判断で可能だが、いかがか。

町長 非課税世帯の高齢者に対しては、国の政省令などに基づき、公費負担により負担軽減を行っている。現時点では、これらの制度以外の独自の対策として、サービス利用料の助成を行う考えはない。

問 保険料は広域で統一のため減免できないが、利用者負担の助成は可能だと考える。やろうと思ったらできるが、町ではやらないということか。

町長 町としてしないという判断に行き着いただけではない。

く、どこの地域でもそのような思いは当然あるが、町の財政状況や様々な情勢を鑑みて施策を展開していると考ええる。

利用者負担の軽減といった施策よりも、なるべく健康な体を作ってもらうための環境づくりを町としては行っている。

問 健康なうちは一人で暮らせるが、結局は施設にお世話になり、仁木を離れざるを得ない。ケアハウスのような施設は考えていないのか。

町長 現時点では、今後の高齢者人口や人口推計を勘案し、町直営でケアハウスのような特定施設を建設する考えはない。

問 町直営で特定施設を建設する考えはないとのことだが、長寿園も老朽化してきている。今後の在り方として福祉会等と話し合いは持つ

たことがあるのか。

町長 これまで、町内事業者の方から施設の計画について話を受けた経緯はある。

民間企業等でそういった話があれば、町としても支援策を検討することは考えていきたい。

問 住民の暮らしを守る首長として、国に対して住民負担増が強まる見直しは止めるよう

求めていくべきであると考えるが。町長の見解は。

町長 そもそも、介護保険制度は国の制度なので、その下で我々は仕組みづくりを行っている。今後、国に対して町の実態としてそういった声が上がっていくということは可能だと考える。



健康な体を作り、介護予防に努めましょう

外壁塗装 改修工事実施

臨時会のあらまし

第2回臨時会は、5月30日に開会し、同日閉会しました。
町から、専決処分6件（令和5年度補正予算4件、条例改正2件）、令和6年度補正予算3件、契約締結3件の計12件が上程され、全ての議案を承認及び可決しました。

補正予算

審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

契約締結

令和6年度町道仁小前線改良工事請負契約の締結、令和6年度普通河川マカナイ川護岸工事請負契約の締結及び、令和6年度コスモス30外壁等改

修工事請負契約の締結が提案され、それぞれ審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。
令和6年度町道仁小前線改良工事は、北町3丁目地内の町道仁小前線の両側に路側帯及び側溝を設置し、道路延長約290メートル、造成幅員を7メートルとする改良工事、契約金額は6875万円です。
令和6年度普通河川マカナイ川護岸工事は、銀山2丁目地内の普通河川

マカナイ川に掘削工、盛土工、大型積ブロックによる護岸工事等を実施するもので、契約金額は8756万円です。
また、令和6年度コスモス30外壁等改修工事は、町営住宅コスモス30の外壁塗装及び、屋上防水改修、共用廊下、バルコニーの床改修、自転車置場の屋根改修工事等を実施するもので、契約金額は1億6390万円です。

▼令和5年度会計
◆一般会計（専決第4号）
一般会計補正予算は、執行残等による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認**しました。

◆国民特別会計（第1号）
全員賛成で可決
◆後期医療特別会計（第1号）
全員賛成で可決

◆国民特別会計（専決第1号）
全員賛成で承認
◆簡水特別会計（専決第1号）
全員賛成で承認
◆後期医療特別会計（専決第1号）
全員賛成で承認

▼令和6年度会計
◆一般会計（第1号）
一般会計補正予算は、人事異動に伴う職員人件費の補正等が提案され、

令和5年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

- 一般会計（12回目の補正）
9632万1000円減 55億898万9000円
- 国民健康保険事業特別会計（4回目の補正）
195万3000円減 1億9508万5000円
- 簡易水道事業特別会計（3回目の補正）
616万円減 2億3045万円
- 後期高齢者医療特別会計（4回目の補正）
132万1000円減 7503万6000円

令和6年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

- 一般会計（1回目の補正）
112万5000円減 50億5352万4000円
- 国民健康保険事業特別会計（1回目の補正）
52万2000円増 2億774万3000円
- 後期高齢者医療特別会計（1回目の補正）
9万8000円増 8052万6000円

条例改正

▼仁木町地域支援事業及び生活支援事業条例の一部改正（専決第1号）
全員賛成で承認

▼仁木町税条例の一部改正（専決第1号）
全員賛成で承認

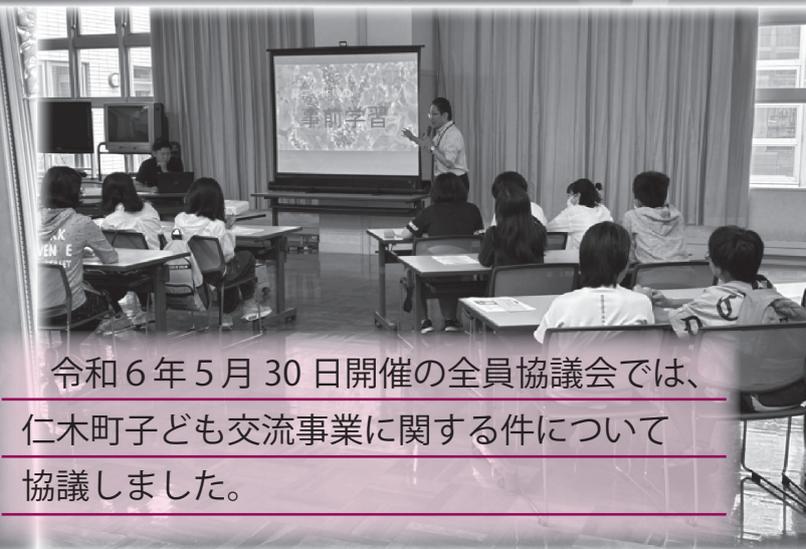
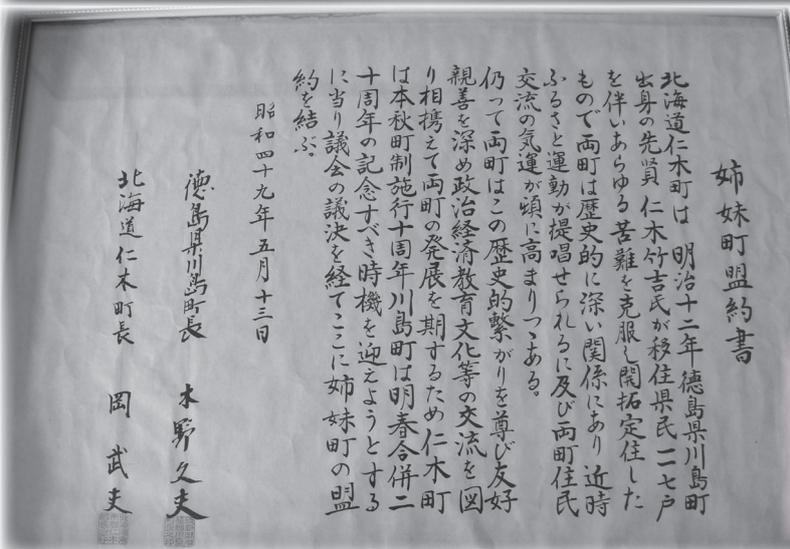


仁木町町政施行60周年

～仁木町子ども交流事業～

全員協議会

5月30日



令和6年5月30日開催の全員協議会では、
仁木町子ども交流事業に関する件について
協議しました。

質疑あれこれ

Q スケジュールの内容については、どのような決め方をしているのか。

A 町側でたたき台を作成し、JALや引率者から提案を受けながら、適宜調整している。

Q 町長が言おうとしていないことはわかるが、不公平感が生じるのではないかと、もう少し考慮することはできないのか。

A その懸念も当初から考えていたが、それを考えて事業を実施しないということよりも、やらないうちからやるといふ方がよいという考えのもと、今回は大きな節目として実施する経過がある。これから協議していきたいと思っている。

Q この事業は今年度のみの事業として実施するのか。

A 吉野川市議会の議員に何度も足を運んでいたが、交流を持つという話合いの中で、本町もかつてのゆかりの旅のよ

うな形で復活させたいという思いがあったが、財政的な部分や、旧川島町の合併などの事情もある中で、今回は様々な縁が積み重なって事業ができた。

来年度以降は、先方と色々協議しながら、また我々の内情も整理しながら、実現化に向けて考えていきたい。

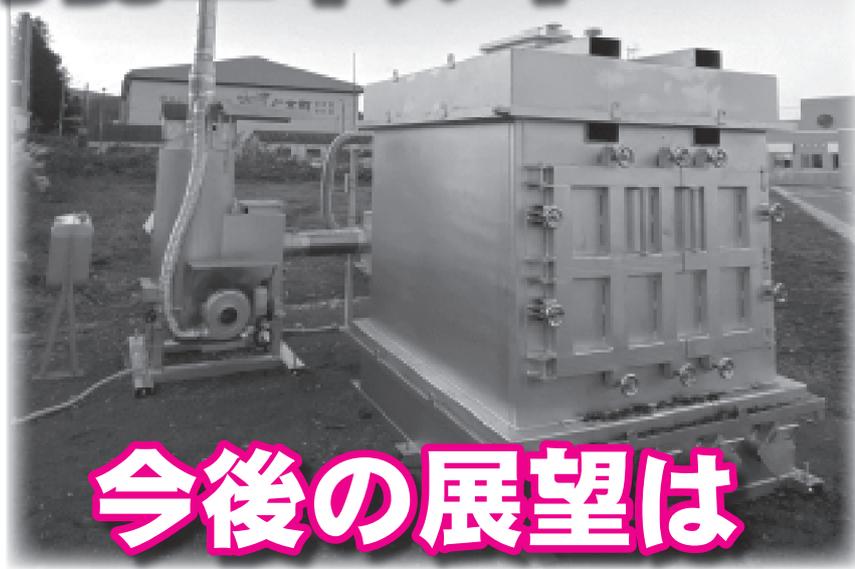
今の特典では、来年度以降については明確な答えは出せないということを理解いただきたい。

北海道仁木町は明治十二年徳島県川島町出身の先賢仁木竹吉氏が移住県民二七戸を伴いあらゆる苦難を克服し開拓定住したもので両町は歴史的に深い関係にあり近時ふるさと運動が提唱せられるに及び両町住民交流の気運が頗る高まりつゝある。

姉妹町盟約書

昭和四十九年五月十三日

徳島県川島町長 木野久夫
北海道仁木町長 岡武史



今後の展望は

令和6年6月19日開催の全員協議会では、令和6年度仁木町エネルギー転換実証事業に関する件について協議しました。

本町では、仁木町独自の再生可能エネルギーの導入モデルの確立を目指し、令和4年度に「仁木町再生可能エネルギービジョン」を策定、令和5年度には、公共施設への太陽光発電設備の導入に係るFS調査及びバイオマス発電の実証事業の実施に向けた事前調査を実施してきました。

全員協議会では、令和6年度仁木町エネルギー転換実証事業について、当初予算の7172万円に対し、国の採択額が3586万円であったことから、事業を縮小して実施すること等について説明を受け、協議しました。

質疑あれこれ

Q この実験はいつまで続けるつもりか。

A 今のところ着地するところについては、まだ明確なものを持っていないが、この地域でしか使えない財源なので、補助金が使えらうちは少いはず。知見を蓄えていくのも良いかなと考えている。

Q 知見を蓄え、実際にその技術を活用して例えば庁舎を整備するとか、地域の中でその技術を実際に展開していくことができる事業なので、有効に活用していくべきだと考えている。

Q バイオ炭については、前回、関係団体とも協議すると伺っているが、どのように進んでいるのか。

A 昨年度はプラントを作って、本当にバイオ炭がこの地域でできるのか

ということ、できるということを確認した。それを今度は活用していくステージに入るが、例えば、北見市のように、玉ねぎに対してブランド化して売れるような事例もあるので、農協や、農業改良普及センター等と定期的に会って、情報共有しながら、連携を図りながら進めている。

Q 町はこういうことを最終的にやりたいんだという部分をしっかり示し

て、ターゲットを絞って進めていくべきではないか。

A 町としては先進的な知見を積み上げることで幅広い選択ができるのではないかと考えている。炭を作る過程で熱も出るし、二酸化炭素を吸収するものがある等非常に幅広い可能性があると思う。

地域の皆さんで活用しながらやっていくという視点で進めていきたい。



剪定枝の炭化に成功したとの報告がありました

今夏の児童の暑さ対策を提言

令和6年6月19日に、仁木放課後児童クラブの利用状況について調査をしました。

仁木放課後児童クラブは、本年3月から新しい施設での供用を開始しました。

定員は60名となっておりますが、4月に開催した議会報告・意見交換会において、仁木小学校PTAの方から、『夏休みだけ利用したい親も多い。暑くなる時期でもあるため、希望者全員を入れることはできないか』との声があったことから、現在の利用状況について調査を実施しました。

質疑に対し、放課後児童クラブは、定員である60名以上の受入れは難しいとの回答があった一方で、小型児童館は、猛暑の場合は緊急的な対応として一時的に定員である15名以上の受入れについて協議しているとの回答がありました。

さらに、クーリングシェルターの設置についても、冷房設備がある保健センターや町民センターの利用ができるよう関係部署と調整してまいりたいとの回答がありました。



質疑あれこれ

Q 定員60名に対し、60名を超えた申込があった場合は、どのように対応するのか。

A 今、在籍している55名はすでに登録されている。残りの枠である5名を超える申込があった場合には、実施要綱に基づき、低学年から優先する。学年が同じ場合には、ひとり親家庭、生活保護、

身体障害者手帳等の交付を受けている等により判断することになる。

Q もうすぐ7月に入るといった状況の中で、夏休み期間の対応や、クーリングシェルターの開設については、早急に町民に周知していただきたいかが、いかがか。

A 放課後児童クラブについては、例年夏休み前に一時的な利用について周知しており、例年通り行っていく。クーリングシェルターについては、完全な決めが無い。すぐに夏休みということもあるため、早急に対応を進めてまいりたいと考えている。

調査を経て、仁木町議会として左記の提言書を町側へ提出しました。

提言書

仁木町議会総務経済常任委員会では、令和6年6月19日に仁木町放課後児童クラブの利用状況についての調査を行い、以下の2項目の提言を取りまとめました。

町長におかれましては、本提言を尊重し必要な検討をしていただきますよう、お願いいたします。

1 町民への周知について

放課後児童クラブ及び小型児童館の受入体制を確立し、町民へ周知していただきたい。

2 クーリングシェルターの検討について

児童の利用も考慮した、クーリングシェルターの設置について、早急に検討していただきたい。

現状と今後 について調査



令和6年6月26日には、

- ①北海道新幹線トンネル発生土の管理状況について
 - ②仁木町クリーンセンターの管理状況について
- 調査をしました。

Q 長沢地区は工事終了後2年間の水質調査を実施することだが、5年間程度実施してほしいかが、いかがか。



北海道新幹線トンネル発生土の管理状況については、令和3年度に引続き、受入地と仮置地の調査を、仁木町クリーンセンターの管理状況については、現在の一般廃棄物最終処分場が、令和8年度までの埋立計画ではあるが、延命化が見込まれていることから、現状と今後の方向性について調査をしました。

一般廃棄物最終処分場は、新たな処分場を設ける案、既存の処分場を延命化する案、民間委託する案等について、今後検討していく予定となっています。

A 事業者からは2年間との話があったが、町と協議するとも伺っている。担当としてもできるだけ長い期間検査したいと考えているため、打合せしていきたい。

調査を実施してほしいが、いかがか。

A どの様な形で実施できるかはこれからの協議になるが、モニタリングは事業者にお願いたしたいと考えている。

使用すると、ヒューズが切れると聞いたが、なぜ使えない状況になっているのか。

Q 大江地区には無対策土を仮置きしている。事業終了後には、土質の検査

Q クリーンセンターに設置されている破砕機を

A 今冬にも事象が発生した。当初は問題なかったはずであるため、何が問題なのか受託業者にも確認をしているところである。

調査を経て、仁木町議会として左記の提言書を町側へ提出しました。

提言書

仁木町議会総務経済常任委員会では、令和6年6月26日に北海道新幹線トンネル発生土の管理状況について及び仁木町クリーンセンターの管理状況についての調査を行い、以下の3項目の提言を取りまとめました。

町長におかれましては、本提言を尊重し必要な検討をしていただきますよう、お願いいたします。

- 1 北海道新幹線トンネル発生土について
トンネル発生土の処理完了後は、事業者が土質及び水質等の調査を誠意をもって対応するよう要請していただきたい。
- 2 仁木町クリーンセンターについて
 - ① 町民にごみの分別方法をわかりやすく周知徹底し、更なるごみの減量化に努め、施設の延命化を図っていただきたい。
 - ② 業務の合理化等を検討し、人手不足の解消など、持続可能な事業の推進に努めていただきたい。

第68回北海道女性議員協議会研修会

ジェンダー平等の

実現に向けて

6月29日、江別市において、北海道女性議員協議会研修会が開催され、上村議員と前田議員が参加しました。

当日は、「ジェンダー平等の実現に向けてわたしたちができること」と題して、札幌市男女共同参画センターの菅原亜都子氏の講演を拝聴した他、全国トップクラスの女性比率を誇る江別市議会の女性議員を中心に、パネルディスカッションが開催されました。

新型コロナウイルス感染症により4年ぶりの開催となりましたが、全国各地から約80名の女性議員が参加され、各自治体におけるジェンダー平等の取組等について知ることができ、知見を深めることができました。



貴重な情報共有の場となりました

北海道町村議会議員研修会に参加

議員力の向上に向けて

7月2日、札幌コンベンションセンターにおいて、北海道町村議会議員研修会が開催され、参加しました。

当日は、「札幌が東京より熱くなる!? 加速する気候変動」と題して、気象予報士の森朗氏の講演を、「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所感」と題して、元衆議院議長の大島理森氏の講演を拝聴しました。

講演以外にも、開始前や休憩時間には道内の他町村の議員とも久々に顔を合わせることができ、意見交換するなど、有意義な時間となりました。



道内から多くの議員が集まりました

後志町村議会議員研修交流会に参加

議員活動のために

健康の維持を

7月16日、ルスツリゾート&コンベンションにおいて、後志町村議会議員研修会が開催され、参加しました。

当日は、「生活習慣病予防のための食事について」と題して、倶知安厚生病院栄養科科長である澤田由紀子氏の講演を、「こんな症状は認知症？老化現象？」と題して、倶知安厚生病院地域医療連携室看護科長である大井チエミ氏の講演を拝聴しました。

また、管内の他町村の議員とも顔を合わせ、共通の課題について意見交換するなど、交流を図ることもでき、今後の議会活動のためになる貴重な時間となりました。



一堂に会しての開催は4年ぶりとなりました



あれからどうなった？

質問のゆくえ

議会だよりでは、定例会での一般質問や町民の皆さんからの請願・陳情を掲載していますが、町政にどう反映されたのかを追跡調査しています。

クーリングシェルターを開設

学校給食費を無償化

〈令和5年第3回定例会〉

質問 クーリングシェルターの指定を

極端な高温時に暑さを避けるための、「**クーリングシェルター**」を町で指定する考えは。

提案していききたい 答弁

首長の指導の下で行うこととなっているため、提案していききたい

あれから…こうなりました



仁木町民センターを指定

熱中症特別警戒アラートが発表された際に、暑さを避けて休憩をとることができる施設として、仁木町民センターを指定しました。

〈令和5年第4回定例会〉

質問 給食費をどうするのか

ここ数年の間に全国的にも小・中学校給食費無料化が進んできた。今後の給食費をどうするのか。

調査検討してまいりたい 答弁

抜本的な子育て世帯への支援のあり方、施策について調査検討してまいりたい

あれから…こうなりました



学校給食費の無償化を実施

物価高騰に直面する子育て世代の経済的負担を軽減することを目的に、町内に住所を有する児童及び生徒の保護者世帯に対し学校給食費を徴収しないことにしました。

ニキポーの仮に仮に？

クーリングシェルターとは



気候変動適応法の改正により、**熱中症特別警戒アラート**発表期間中には、市町村が指定した指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を開放することになっています。

仁木町では、熱中症特別警戒アラートが発表された際に、暑さを避けて休憩をとることができる施設として、仁木町民センターを指定しました。

ニキポーの仮に仮に？

熱中症特別警戒アラートとは



環境省及び気象庁から、熱中症による重大な健康被害が発生するおそれがある場合に、暑さへの気づきを促し熱中症予防行動を呼びかけるもので、都道府県ごとに発表されます。

熱中症特別警戒アラートが発表されるなど、危険な暑さが見込まれるときは、冷房が効いた室内で過ごすことが基本となります。



飲食店や公園の充実を

工藤 宏樹 さん (北町)

連載35回目は、北町在住の工藤さんファミリーを紹介します。奥様とお子さん3人の5人家族です。余市町で建設関係のお仕事をされています。

◎ 仁木町の子育て環境はどうですか。

医療費の無償化や子育て世帯への支援金など、他の町の方と話をすると、仁木町はとても恵まれていると感じます。

◎ 普段の生活の中で、町に要望したいことはありますか。

飲食店があれば良いですね。今は、外食の際に他町村に行ってしまうので、町内にお店があるともっと町が活気づくと思います。

あと、小さい子が遊べる公園があるといいですね。広さや安全面、遊具などの環境を考えると、少し遠くても余市町や赤井川村の公園に行くことを優先してしまいます。

また、町内の道路では国道との交差点なども含めて、見通しが悪い場所がいくつかあります。特に冬は道路脇に雪が高く積まれることで、もっと見通しが悪くなります。危ない場所は、カーブミラーの設置や除排雪の充実を要望したいです。

◎ お子さんに対してメッセージを！

人の気持ちのわかる思いやりのある元気な子になってほしいです。

「生まれ育った仁木町が大好きで、仁木以外に住むことは考えられなかった」と語る工藤さん。

自宅を建設する際の町の補助はとても有難かったと言います。

生活面では、「車が無い方にとっては少し住みにくいのでは。」との声もいただき、改めてJR廃止に関する移動手段の確保や、町内における交通手段の充実についての課題を再認識させられました。

(取材・インタビュー 木村 章生)



町民の安全・安心を

余市警察署 仁木駐在所

警部補 片岡 正治 さん

今年4月に、仁木駐在所へ配属されました片岡警部補を紹介します。前任は空知管内の滝川市で、今まで札幌市など主に市での勤務が多かったという片岡警部補。

本町の印象を伺うと、「空気が良く、自然豊かで良い町ですね。サクランボの木が道路沿いに多く、これから秋までの季節は様々な果物があるということで、楽しみにしています。」と、話してくれました。

若い頃は囲碁や剣道を趣味としていましたが、仕事が忙しくなり遠ざかってしまったようで、本町では、町内の上り坂を自転車で駆け上がるなど、運動して体を鍛えなおすことを趣味にしていっています。

町民の安全・安心はもちろん、交通安全や特殊詐欺の被害防止にも力を注ぎたいと力強く語る片岡警部補は「なかよしクラブ安心警察隊や新おたる農協青年部の皆さんの活動はとても心強いです。」と、町民の有志活動

に感心されていました。



また、町民の皆さんには、「外国人の方が増えてきて、自転車の通行量が増えています。地域の子どもたちや、研修に來ている外国人の方が事故に遭わないよう、時には指導したり、サイレンを鳴らすこともありますが、皆さんの安全を守るためですので、ご理解ください。」とのメッセージをいただきました。

(取材・記事 嶋田 茂)

次の議会は
9月
定例会
(9月下旬開催予定)

- ◆編集・発行責任者
議長 横関 一雄
- ◆議会広報編集特別委員会
委員長 嶋田 茂
副委員長 佐藤 秀教
委員 前田 春奈
山内 健生
木村 章生
野崎 明廣
宮本 幹夫
上村 智恵子

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。